

# ウェルビーイング Well-Being 2016

～心つながる わかりあえるまち さやま～

日時: 11月30日(木)～12月3日(土)、9時～17時

場所: 市民交流センター 1階 コミュニティホール

12月3日(土)～9日(金)の「障害者週間」を前に、障害のある方たちの、ありのままの姿や今の想いをお伝えするイベントを実施します。自分の夢に向かい努力している姿や、その活動を支える支援機関での日々の取り組みのようすなど、障害のある方ご本人にスポットを当てた展示です。

一人でも多くの方のご来場をお待ちしています。



今年のポスターの絵の作者・鹿熊美佐子さん(29歳)は現在、就労継続支援B型の

サービスを利用し、絵画の制作や作業活動を行っています。鹿熊さんに絵に寄せる思いなどを伺いました。

「勤務先で飼っている亀を中心に、その周りは『宝尽くし』という縁起のよい物を描きました。描くことは楽しいけれど、時間がかかり、大変なときもあります。これからも絵を描き続け、人の役に立ちたいと思います」

【お母さまから】

「人と人は、お互いを好きになれると信じています。その第一歩として『一緒にいる』ことが大切です。私たちも積極的に外に出るようにしていますので、周りの人と『つなげてくれる』人がいれば嬉しく思います」

今年4月に施行された「障害者差別解消法」では、誰もが住み慣れた地域とともに育ち、学び、働くことができる「共生社会」の実現を目指しています。

「Well-Being」とは、「その人がその人らしく生きる」こと。障害の種類や程度はさまざまです。障害のある方々が、自分の持っている力を発揮しながら、地域で暮らしていくために大切なことは、周りの方たちとのつながりを育むこと。障害のある方たちのありのままの姿を知ることが、「その方にとって必要な配慮」や「私たちにできること」を理解する近道になります。「心をつながり」の大切さを一緒に考えてみませんか。

障害のある方やご家族が、「これまでの道のり」や「将来への想い」などを、自身の言葉で伝えます。

未来に向かって前向きに生きていく皆さんのお話から、障害に対する理解が深まる発表会です。

日時 12月3日(土)、11時～15時

## パネル展示

障害のある方を支援するさまざまなサービスや事業所の取り組みの紹介、障害のある方々が制作した作品などを多数展示します。

日時 11月30日(木)～12月3日(土)、9時～17時(3日は16時まで)

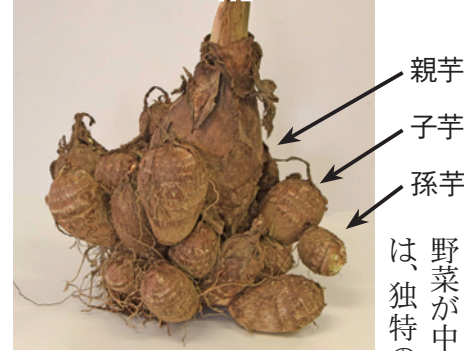


野崎 陽弘さん (Well-Being)にも平等に『幸せになる権利』を持つています。しかし、障害があることにより、この権利が隅に置かれ、いつの間にか『最低限度の生活を維持する』ことだけが目標になってしまふことがあります。

「主催者から」 「障害のある方は、私たち狭山市民立支援協議会では、障害のことや支援機関の取り組みなどを多くの方々に知っていただき、誰もが地域の一員としてともに歩んでいけるような活動を続けていきます。その柱となるこのイベントに、多くの皆さんにお越しいただき、私たちの活動を知っていただくことで、『心をつながり』を築いていけたらと思います」

問合せ 障害者福祉課へ内線1594  
2952・0615

【収穫した里芋の株】



親芋  
子芋  
孫芋

この時季に収穫される狭山の野菜は、ほうれんそうや小松菜、水菜などの葉物野菜、里芋や大根、にんじんなどの根菜類などの露地野菜が中心です。中でも旬の里芋は、独特の「ねっとり感」や「芋の白さ」が特徴で、市場でも味が良いと評価が高く、都内の高級料亭などでも使用されているほどです。狭山市のほか、所沢市、川越市などで生産されていて、県の平成26年の里芋の産出額は日本一を誇ります。

実りの秋、市内では野菜の収穫が最盛期を迎えています。小・中学校や幼稚園、保育所でも、「学童農業体験事業」の中で、それぞれの畑で育てた野菜の収穫に子ども達も歓声を上げています。



《平成28年11月号の表紙》 狭山の野菜がおいしい季節です

里芋は、春に植えた種芋から大きな親芋が育ち、その周りに子芋、孫芋ができることから子孫繁栄の縁起物とされ、お正月料理にも使われます。また、親芋は繊維質が多く固いため、流通していませんが、この親芋を活用した「里芋コロツケ」は狭山のB級グルメとして、すっかり定着しています。

地元で採れた野菜は、新鮮なうちに店舗に出荷されるため美味しく、また、生産された場所も分かるため安心です。市では、狭山の野菜を学校給食の食材に用いるなど、地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」を推奨しています。おいしい狭山の農産物を、ぜひ召し上がってください。

## 狭山市農業祭を開催

日時 11月19日(土)、9時～14時  
30分 場所 市民会館、JAいるま野狭山支店  
内容 農産物品評会と直売、里芋株分け体験、模擬店、学童農業体験事業の成果展示、キヤラクターショーなど ※市役所からの無料送迎バスもご利用いただけます

問合せ 農業振興課へ内線2531



## 映画「武蔵野」を制作

狭山市や川越市、所沢市、三芳町の平地林では、江戸時代から300年以上続く、落葉を堆肥にして畑に施す循環農業が営まれています。農家は平地林のことを「ヤマ」と呼び、「ヤマがあるから人は生きていける」といった、自然とともに生きる精神文化が息づいています。今では地域の方たちと農家が手を組み、貴重な「ヤマ」を後世に残す活動も始まりました。

大都市近郊の自然と一体となった伝統農業が継承されている場所はほかに無く、その魅力を全国に発信するための、ドキュメンタリー映画の制作が進んでいます。

問合せ 映画「武蔵野」製作委員会へ  
090・4947・1074



上赤坂(堀兼地区)の平地林

## 平成28年11月号のもくじ

3ページ	「Well-Being 2016」を開催します	22ページ	保健センター 12月のお知らせ
4ページ	特集「STOP！児童虐待」	23ページ	12月の相談案内
6ページ	まちの今...これから、市長が走る	24ページ	残しておきたい狭山の風景、もぐもぐsa yama、Myなでしこ ちふれASエルフェン埼玉、今月の写真クイズ、今月の納期、目で見るとさやま
7ページ	クローズアップ「介護保険の利用状況」		
8ページ	ひと・まち・写真館、さやまりポート、さやまの教育・元気なさやまっ子		
10ページ	いきいき自治会、Zoom upどうぶつ園、市民リレー「私の宝物」、ハロー仲間たち		
11ページ	情報ガイド、市民のイベント		

今月の市内同時配布物  
さやま議会だより

## 物品販売

福祉作業所で心を込めて作った手作りの品々を販売します。

日時 11月30日、12月1日(水・木)、10時～15時 販売品だんご各種、酒まんじゅう、パン、クッキー、ジャム、革小物、フェルトストラップ、アクセサリ、帽子など

## 「主催者から」